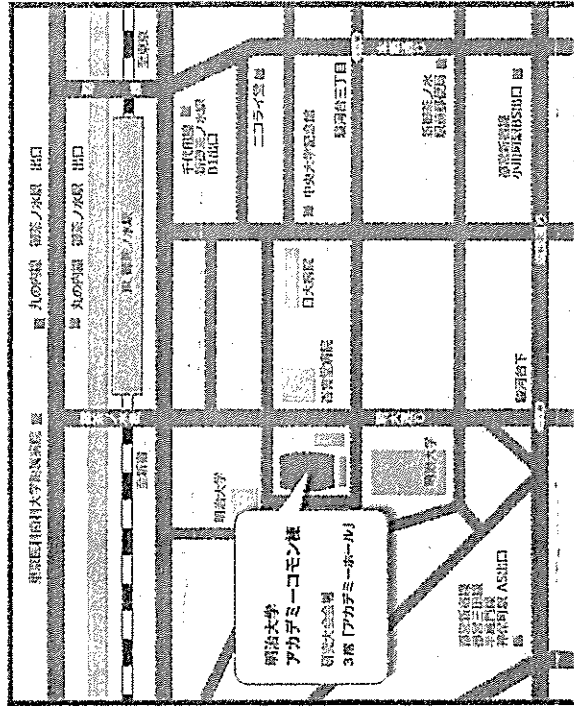


政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 田 中 惟 允

年 月 日	令和7年5月15日～16日				
政務活動先	東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン棟 財団法人日本自治創造学会				
研修名	2025年度日本自治創造学会研究大会				
参加者	田中惟允議員 全国の都道府県議会議員				
参加目的	地方自治の現状、法制度的知識の習得と今後の潮流把握など				
内容、結果等 ※研修受講の効果を明記のこと	15日講演「地方自治における政治の復権」後房雄（名古屋大学）、「日本の統治構造」飯尾潤（政策研究大学院大学）、～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～井倉義伸（国際協力機構）、「地方自治のあり方を問う」金井利之（東京大学） 16日「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略」「ネット選挙に対応する」安野貴博（AIエンジニア）、「領域を超えない民主主義」砂原庸介（神戸大学）「高齢社会における大災害への対応と課題」浅野大介（石川県副知事） いずれも喫緊の課題であり対応しなければならないと感じた。				
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	京都駅	近鉄	榛原駅 ～京都駅	2210	1
	東京駅	JR 新幹線	京都駅～ 東京駅	14170	2
	明治大学	タクシー	東京駅～ 明治大学	1000	3
	復路自宅へ	タクシー	明治大学～ 東京駅	1900	7
	京都駅	JR 新幹線	東京駅～ 京都駅	14170	8
	榛原駅	近鉄	京都駅～ 榛原駅	2210	9
	宿泊費	23,310 円	全国町村会館 内訳:朝食を除く素泊まり充当		6
	研修費	11,000 円	内訳:当日参加費		4
	合計	69,970 円 （すべて政務活動）			
備考	添付資料：				

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。



- JR中央線
 - 地下鉄丸ノ内線
 - 地下鉄三田/半蔵門/新宿線
 - 地下鉄千代田線
- 「御茶ノ水」徒歩3分 (御茶ノ水橋口を出る)
 「御茶ノ水」徒歩5分
 「神保町」徒歩8分
 「新御茶ノ水」徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会
 The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301
 (事務局)NPO法人地方自立政策研究所内
 TEL 03-5846-9227
 FAX 03-5846-9228
<https://jsozo.org>
 E-mail: info@jsozo.org

第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会

変容する社会・地方選挙 ～地方自治のあり方を問う～

日時

2025年 5月15日(木) 13:00～17:45
 5月16日(金) 10:00～15:05

会場 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費 会 員 13,000円 (年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)
 非会 員 15,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)
 ※大学院生・非会員参加費 3,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)
 懇親会 ～地域間交流会～ (自由参加) 2,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

第17回日本自治創造学会

研究大会プログラム

■ 第1日目 5月15日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 (財)日本自治創造学会理事長
13:10～14:00	講演 地方自治における政治の復権 後 房雄 (名古屋大学名誉教授)
14:00～14:15	質疑
14:15～15:05	講演 日本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～ 飯尾 潤 (政策研究大学院大学教授)
15:05～15:20	質疑
15:20～15:35	休憩
15:35～16:25	講演 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～ 地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について 井倉 義伸 (独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐)
16:25～16:40	質疑
16:40～17:30	講演 地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～ 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
17:30～17:45	質疑
18:00～19:30	懇親会～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする”

■ 第2日目 5月16日(金)

10:00～10:45	講演 AI時代の取方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選の経験から学ぶ～ 安野 貴博 (AIエンジニア・起業家・SF作家)
10:45～11:00	質疑
11:00～11:45	講演 ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～ 安野 修右 (日本大学法学部政治経済学専攻主任講師)
11:45～12:00	質疑
12:00～13:00	昼食 12:40～(財)日本自治創造学会総会
13:00～13:45	講演 領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～ 砂原 簡介 (神戸大学大学院法学研究科教授)
13:45～14:00	質疑
14:00～14:45	講演 高齢社会における大災害への対応と課題 浅野 大介 (石川縣警知事)
14:45～15:00	質疑
15:00～15:05	閉会挨拶 牛山 久仁彦 (財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

第11号様式の8 (第5条関係)

政務活動記録簿 (会議・意見交換会参加)					
会派・議員名 田 中 惟 允					
年 月 日	令和 7 年 5 月 29 日～30 日				
政務活動先	熊本市中央区手取本町 6-1 鶴屋百貨店東館 7 階鶴屋ホール 2				
会議名	令和 7 年度全国日台友好議員協議会定期総会				
参加者	日華親善奈良県議会議員連盟 会長 田中惟允				
参加目的	全国の各議員連盟活動状況把握				
内容、結果等 ※研修受講の効果を明記のこと	全国日台友好議員協議会会長藤田和秀氏の挨拶の後、令和 6 年度事業報告、収入支出決算報告、令和 7 年度事業、予算、役員改選が審議され原案通り決められた。続いて、第 11 回日台交流サミット 2025 を鎌倉で開催することを決定した。 閉会の挨拶は同会理事長遠藤富士雄が行った。 議員連盟の活動の支えとして、参加することに意味と効果があった。				
会議参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	会場へ往路	近鉄	榛原駅～ 大阪難波駅	1920	1 0
		地下鉄御堂筋線	難波駅～ 新大阪駅	290	1 1
		JR 新幹線	新大阪駅～ 熊本駅	19490	1 2
		タクシー代	熊本駅～ 鶴屋百貨店	2000	1 3
	自宅へ帰路	JR 新幹線	熊本駅～ 新大阪駅	21630	1 5
		近鉄	大阪難波～ 榛原駅	1280	1 6
	駐車場代	Pat 近鉄榛原駅南駐車場		1600	1 7
	宿泊費	16400	熊本市中央区上通町 2-1 内訳: ホテル日航熊本		1 4
	参加費		食事代を含むため請求しない。 内訳:		
	合計	64,610 円 (すべて政務活動)			
備考	添付資料:				

注 会議に関する資料や会場の写真等を添付してください。



全国日台友好議員協議会

令和7年度

定期総会

令和7年5月29日(木)

熊本市会場

令和7年度 全国日台友好議員協議会 定期総会

次 第

【日時】 令和7年5月29日(木)15時

【場所】 鶴屋百貨店 鶴屋東館7階

鶴屋ホール2

【司会】 事務局長 岩本崇宏

1 開会のあいさつ 全国日台友好議員協議会 会長 藤田和秀

2 来賓ごあいさつ 熊本市 市長 大西一史 様

3 議長選出

4 議事進行

報告第1号 令和6年度事業報告

報告第2号 令和6年度収入支出決算報告・監査報告

議案第1号 令和7年度事業案

議案第2号 令和7年度予算案

議案第3号 令和7年度役員案

5 第11回日台交流サミット2025 IZA 鎌倉について

鎌倉市議会 代表理事 松中 健治

6 その他

7 閉会のあいさつ 全国日台友好議員協議会 理事長 遠藤 富士雄

第11号様式の8（第5条関係）

政務活動記録簿（会議・意見交換会参加）					
会派・議員名 田 中 惟 允					
年 月 日	令和7年8月25日				
政務活動先	東京都港区新橋 1-18-1 航空会館 7 階大ホール				
会議名	森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟 全国連絡会議令和7年度定時総会				
参加者	森林・林業・林産業活性化促進奈良県議会議員連盟 会長 田中惟允				
参加目的	全国の情勢把握と今年度の方針把握のため				
内容、結果等 ※研修受講の効果を明記のこと	定時総会としての令和6年度事業報告、令和6年後収支決算報告、令和7年度事業計画、令和7年度予算、令和7年度会費の賦課及び徴収方法、役員改選の審議が行われ原案通り可決された。そのあと『地方創生10年、きのう・きょう・あす』と題し内閣官房参事官赤羽元氏の講演が行われた。総会終了後、奈良県選挙区選出国會議員に「森林の循環利用の実現等に向けた森林・林業・木材産業施策の加速化について令和7年度提言」を説明、要望活動を行った。				
会議参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	会場へ往路	近鉄	桜井駅～ 京都駅	2060	18
		JR 新幹線	京都駅～ 新橋駅	13970	19
	自宅へ帰路	JR 新幹線	東京駅～ 京都駅	13970	20
		近鉄	京都駅～ 桜井駅	1660	21
	宿泊費		内訳:		
	参加費		内訳:		
	合計	316610	円（すべて政務活動）		
備考	添付資料:				

注 会議に関する資料や会場の写真等を添付してください。

令和7年6月11日

都道府県林活地方議員連盟
会 長 各 位

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟
全国連絡会議 会長 市 村



全国連絡会議令和7年度定時総会の開催について

標記について、下記のとおり開催いたしますので、ご出席をお願いいたします。

記

【令和7年度定時総会】

- 1 日時：令和7年8月25日（月）14時00分～15時00分
- 2 場所：航空会館7階「大ホール」
〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-1 電話 03-6811-7017
〈アクセス〉 <https://kokubiz-forum.jp/access/>
- 3 議題：議案審議
 - (1) 議案1号の1 令和6年度 事業報告について
 - (2) 議案1号の2 令和6年度 収支決算書について
(監査報告)
 - (3) 議案2号の1 令和7年度 事業計画（案）について
 - (4) 議案2号の2 令和7年度 収支予算書（案）について
 - (5) 議案3号 令和7年度 会費の賦課及び徴収方法（案）について
 - (6) 議案4号 役員の交代について
 - (7) その他
- 4 講演 15時10分～16時00分
未定（調整中）

✓ [お詫び:先にお送りした役員宛ての文書では林野庁の長崎屋森林整備部長を記載しておりましたが、これから講師を決めていきますので訂正いたします]

【要望活動】

※ 既に役員県にはご連絡済みですが、役員県以外におかれましても、関係国会議員等に適宜「要請活動」を行っていただきますようお願い申し上げます。

※ 定時総会出席者氏名を、別紙により8月15日（金）までに E-mail 又は Fax にてご連絡ください。

林活地方議連全国連絡会議事務局
（一社）日本林業協会内 [REDACTED]
TEL : 03-6801-8931 FAX : 03-6801-8932
E-mail: [REDACTED]

森林・林業・木材産業の活性化と豊かな山村の再生を目指して

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟

令和7年度

全国連絡会議定時総会

令和7年8月25日

航空会館 7階「大ホール」

東京都港区新橋1-18-1

40-172202

受 付 票 (控)					
令 和 7 年 2 月 25 日			午 前 後 6 時 43 分		
議 員 名		田 野 瀬 太 道 殿		3 階 514 号室	
来 館 者	ふりがな				
	氏 名	田 中 惟 光		外 1 名	
	住 所 又は 勤務先 団体名	奈良県議会議員 電話番号 0745 (83) 11188			
	用 件	陳 挨 情 拶	連 公 社 私 絡 用 用 用	職 業 約 束	有 無
注 意	(1) 用件欄及び約束欄の該当箇所を○でかこんで下さい。 (2) 申請外の議員事務室及び会議室には通行できません。 (3) 本票及び通行証 (同行者の通行証も含む) は、退館時に カード回収箱に返却して下さい。				

衆議院議員会館

-99

面 会 証			
令和		年	月 日
議員名		殿	階 号室
面 会 者	ふりがな		
	氏 名	田中 惟元 殿外 / 名	
	ふりがな		
	団体名 勤務先 又は住所	奈良県議会議員 電話番号 0765 831188	
用 件	☒ 陳情 ☐ 公 社 私 取 挨 納 打 其 ☐ 情 用 用 用 材 撈 品 合 他	約束の有無 有 ☐ 無 ☒	
面会場所		議員室 面談室 委員長室 喫茶 食堂	
注 意 (1) 用件欄の該当するところを○でかこんで下さい。 (2) 本証で他の議員室を訪問することはできません。 (3) 代表者は同伴者と行動を共にして下さい。 (4) 本証は退館の際玄関の回収箱にお返し下さい。			

参議院議員会館

第11号様式の10（第5条関係）

政務活動記録簿（年会費負担）				
会派・議員名 田中 惟允				
年 月 日	令和7年5月15日			
年会費名	一般財団法人日本自治創造学会 年会費			
相手方	一財法人日本自治創造学会 東京都千代田区神田佐久間町 2-24-301 NPO 法人地方自立政策研究所内			
年会費支払目的	研究大会における参加だけでなく、ネットからの情報提供を得るため。			
按分率の説明	この団体の活動は、地方自治に関する研究、地方議会の活性化に向けた啓発が目的であり、政策推進だけを目的としている			
活動内容等 ※年会費支払いの効果を明記のこと	◆本会の活動内容 毎年1回研究大会を開催してる。（添付資料参照） ◆本会の活動頻度 添付資料参照 ◆参加者の状況 添付資料参照			
経費	項目	金額	内容	領収書番号
	年会費	2,000	年会費	5
	合計 2,000 円（ ）			
備考	添付資料：第17回 2025年度一般財団法人日本自治創造学会研究大会要項			

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会

**変容する社会・地方選挙
～地方自治のあり方を問う～**

日時

2025年 5月15日(木) 13:00～17:45
5月16日(金) 10:00～15:05

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費 **会 員 13,000円** (年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生会員参加費 2,000円 (年会費、2日間大会参加費・資料代含む)
非会員 15,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生非会員参加費 3,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)
懇親会 ～地域間交流会～ (自由参加) 2,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

第17回日本自治創造学会

研究大会 プログラム

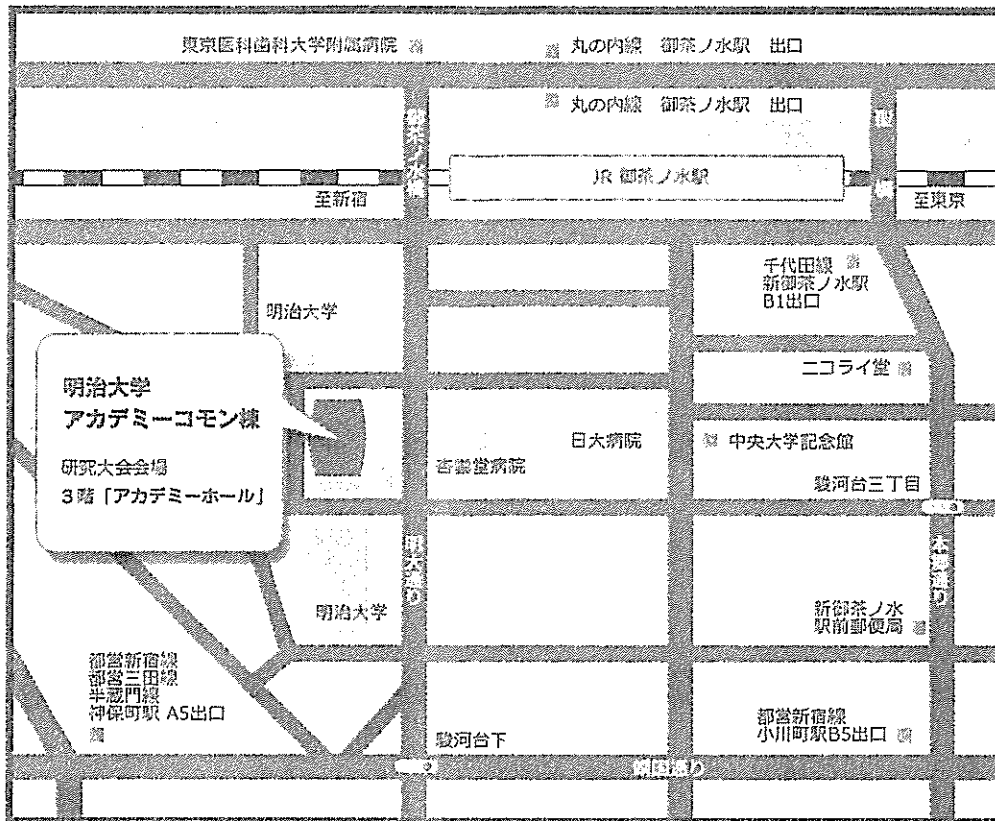
■ 第1日目 5月15日(木)

- | | |
|-------------|---|
| 12:00 | 開場・受付 |
| 13:00～13:10 | 大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長) |
| 13:10～14:00 | 講演 地方自治における政治の復権
後 房雄 (名古屋大学名誉教授) |
| 14:00～14:15 | 質疑 |
| 14:15～15:05 | 講演 日本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～
飯尾 潤 (政策研究大学院大学教授) |
| 15:05～15:20 | 質疑 |
| 15:20～15:35 | 休憩 |
| 15:35～16:25 | 講演 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～
地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について
井倉 義伸 (独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐) |
| 16:25～16:40 | 質疑 |
| 16:40～17:30 | 講演 地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～
金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授) |
| 17:30～17:45 | 質疑 |
| 18:00～19:30 | 懇親会～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする” |

■ 第2日目 5月16日(金)

- 10:00～10:45 講演 **AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略**
～都知事選の経験から学ぶ～
安野 貴博 (AIエンジニア・起業家・SF作家)
- 10:45～11:00 質疑
- 11:00～11:45 講演 **ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～**
安野 修右 (日本大学法学部政治経済学科専任講師)
- 11:45～12:00 質疑
- 12:00～13:00 昼食 12:40～(財)日本自治創造学会総会
- 13:00～13:45 講演 **領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～**
砂原 庸介 (神戸大学大学院法学研究科教授)
- 13:45～14:00 質疑
- 14:00～14:45 講演 **高齢社会における大災害への対応と課題**
浅野 大介 (石川県副知事)
- 14:45～15:00 質疑
- 15:00～15:05 閉会挨拶 牛山 久仁彦 ((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

会場のご案内



- JR中央線 「御茶ノ水」 徒歩3分 (御茶ノ水橋口を出る)
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」 徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線 「神保町」 徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」 徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会

The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

(事務局)NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5846-9227

FAX 03-5846-9228

<https://jsozo.org>

E-mail: [REDACTED]

第17回 日本自治創造学会研究大会 「講師の横顔」

～ご登壇いただく講師の皆様を御紹介します～

《第1日目・5月15日（木）》

○後 房雄 地方自治における政治の復権

後さんは、当学会の理事で名古屋大学名誉教授です。専門分野は、政治学、行政学、公共政策論で、現在、愛知大学地域政策学部で公共政策論、政策過程論、公共セクター論などの科目を担当しています。公益社団法人日本サードセクター経営者協会の代表理事なども務められています。

○飯尾 潤 日本の統治機構～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～

飯尾さんは、現在、政策研究大学院大学の教授です。専門分野は、政治学、現代日本政治論、政策過程論。『日本の統治機構：官僚内閣制から議院内閣制へ』（中公新書）、『現代日本の政策体系：政策の模倣から創造へ』（ちくま新書）、『改訂版 現代日本の政治』（放送大学教育振興会）など著書多数。

○井倉 義伸 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～

地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について

井倉さんは、現在、国際協力機構（JICA）理事長特別補佐（地方創生2.0）です。1986年にJICA入構以来、一貫して開発途上国における社会課題解決事業に携わり、パプア・ニューギニア、マレーシアの勤務を経て、2022年から2024年まで理事を務めました。国際協力の経験を地方創生2.0に活用すべく取り組んでいます。

○金井 利之 地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～

金井さんは、当学会の理事で東京大学大学院法学政治学研究科の教授です。専門分野は自治体行政学、都市行政学、行政学で、『コロナ対策禍の国と自治体』（ちくま新書）、『行政学講説』（放送大学教育振興会）、『行政学講義』（ちくま新書）など著書多数。

《第2日目・5月16日（金）》

○安野 貴博 AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略～都知事選の経験から学ぶ～

安野さんは、AIエンジニア、起業家、SF作家です。東京大学、松尾研究室の出身です。ボストン・コンサルティング・グループを経て、AIスタートアップ企業を二社創業、デジタルを通じた社会システム変革に携わります。2024年、東京都知事選に出馬、一般財団法人GovTech東京アドバイザーに就任。2025年デジタル民主主義2030プロジェクトを発足。AIを活用した双方向型のコミュニケーションを実践しています。

○安野 修右 ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～

安野さんは、現在、日本大学法学部政治経済学科専任講師で、専門分野は選挙制度論（選挙運動規制、公職選挙法、選挙キャンペーン、選挙制度）です。著書に『競争を否定する選挙法：戦後日本における選挙運動規制の形成過程に関する研究』（日本評論社）があります。

○砂原 庸介 領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～

砂原さんは、現在、神戸大学大学院法学研究科の教授で、専門分野は、政治制度、行政学、公共政策です。『領域を超えない民主主義：地方政治における競争と民意』（東京大学出版会）、『新築がお好きですか？日本における住宅と政治』（ミネルヴァ書房）、『分裂と統合の日本政治：統治機構改革と政党システムの変容』（千倉書房）など著書多数。

○浅野 大介 高齢社会における大災害への対応と課題

浅野さんは、2024年7月に石川県副知事に就任しました。2001年に経済産業省に入省、2018年よりサービス政策課長として課内に教育産業室を設置し、1人1台端末とEdTechを活用した教育改革プロジェクト「未来の教室」を立ち上げ、2019年からは文科省とともに「GIGAスクール構想」による学校デジタル環境整備を推進。2023年には農林水産省に出向し、グローバルサウス諸国との食の通商問題を担当しました。

財団法人 日本自治創造学会の概要

The Japanese Society for Local Democracy

1. 本会の特色

(1) 自治の創造

本会は、市民的な視野に立ち、学術と実践の知的交流を通じて日本の再生、地方自治の創造をめざそうとするものである。特に地方議会の議員を中心に、自治体の首長、職員、市民、研究者を加えて地域に根ざした実践的な研究及び会員相互の交流を通じて、地域主権国家にふさわしい自立・自律的な地方自治を創造することを目的としています。

(2) 幅広い事業への取組み

学術研究大会やシンポジウムを開催し、参加者との意見交換を活発に行うとともに、構成員（会員）の自治体改革や議会改革についての①事例発表機会の提供、②取組内容や成果に対する本の刊行など幅広い活動を行います。

(3) 社会貢献

法人格（財団法人）を有する団体として透明性の高い運営を図り、広く社会に貢献します。

2. 本会の概要

(1) 事業

- ①学術シンポジウム、研究発表、交流大会の開催
- ②各種機関と連携し、会員への情報の提供
- ③機関紙の発行と必要に応じ本の刊行

(2) 会員 約300名・研大会参加者 約500～600名

- ①地方議員、首長、自治体職員
- ②地方自治に関心のある市民及び団体、研究者

(3) 会費

- ①正会員は研究大会参加費13,000円（年会費・資料代含む）とし、院生等は2,000円（年会費・資料代含む）とする。
- ②研究大会（年次大会）のみに参加する者は、その都度、参加費として15,000円（資料代含む）を納入する。

(4) 研究大会（年次大会）

講演会やシンポジウムを開催する。

(5) 役員構成

理事（理事長）	穂坂 邦夫（NPO法人地方自立政策研究所理事長）
理事	牛山久仁彦（明治大学教授）
理事	金井 利之（東京大学教授）
理事	宮台 真司（社会学者）
理事	西出 順郎（明治大学教授）〔幹事兼務〕
理事	後 房雄（愛知大学教授）
幹事	西田 陽光（一般社団法人次世代社会研究機構代表理事）
幹事	戸崎 将宏（千葉県庁）
監事	服部 範雄（会社顧問、元関東管区警察局長）
監事	丸山 晃（株式会社埼玉新聞社名誉顧問）

(6) 学会事務局

事務局はNPO法人地方自立政策研究所（〒101-0025東京都千代田区神田佐久間町2-24-301・TEL03-5846-9227）に置き、学会事務（会計を含む）を担当します。

各 位

日本自治創造学会 第17回研究大会の開催について 御案内

謹啓 時下益々御清祥のことと存じます。
さて、日本自治創造学会では、2025年度研究大会を開催いたします。

変容する社会・地方選挙 ～地方自治のあり方を問う～

日 時

2025年5月15日(木) 13:00～17:45
16日(金) 10:00～15:05

場 所

明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-2301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費

会員 13,000円(年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生会員参加費 2,000円(年会費・2日間大会参加費・資料代含む)
非会員 15,000円(2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生非会員参加費 3,000円(2日間大会参加費・資料代含む)

懇親会～地域間交流～ 5月15日(木) 18:00～19:30
(自由参加) 2,500円

別紙プログラムのとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

参加希望者は同封の参加申込書にご記入の上FAXでお申込ください。(HPからも申込可能)

HP: <https://jsozo.org>

- ①参加申込書が到着次第、参加受付票をお送り申し上げます。(参加費当日払い)
- ②参加受付票をご持参いただかないと入場できませんので、必ずご持参ください。

【お問合せ先】

研究大会運営について

日本自治創造学会 事務局(NPO法人 地方自立政策研究所内)

TEL 03-5846-9227 FAX 03-5846-9228

E-MAIL: jsozo@jsozo.org HP: <https://jsozo.org>

宿泊・交通について

・ANAダイナミックパッケージ <https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic>

ご不明な点は ダイナミックパッケージデスクまで 050-3172-2344 受付時間:9:30～18:00

宿泊・交通については各自ご予約ください

財団法人 日本自治創造学会
理事長 穂坂邦夫

5月15日(木)・16日(金)

日本自治創造学会 第17回研究大会

変容する社会・地方選挙
～地方自治のあり方を問う～

参加申込書	
所属 部署・役職名	奈良県議会 議員
ふりがな	たなか たけし
氏名	田中 惟允
郵便番号	633-2166
住所 ※参加受付票 送付先	(自宅 ・ 勤務先) (どちらかに○) 奈良県宇陀市大宇陀迫間51-3
TEL・FAX	TEL 0745-83-1188 FAX [REDACTED]
e-mailアドレス	[REDACTED]
学会会員 について (いずれかに○を)	☒ 既に会員 ・ 今回会員入会希望 ・ ☐ 非会員

懇親会～地域間交流～ (いずれかに○を)	参加	不参加
5月15日(木) 18:00～19:30 場所：岸本ホール (明治大学リバティタワー23階) 参加費：2,500円		☒

(注)ホームページ上での申し込みはこちら <https://isozo.org>

(必要に応じてコピーしてお使いください)

学会事務局FAX 03-5846-9228